
コナンニュース！

martini

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コナンニユース！

【Nコード】

N1995F

【作者名】

martini

【あらすじ】

これは、コナンが実際に体験した（？）事件（？）を書いてあるお話です。コナン1人称ですので、宜しく願います。それでは、読んでくださいww

よう。

俺は江戸川コナン。

本名は工藤新一だが、江戸川コナンで徹とおさせてもらっぜ。

さて、さっそく、俺が実際に体験した、テレビにも出れるような二
コースを言わせてもらっぜ。

すべて組織絡みだから、そこんところろしくな。

ニュース1

今日、俺は組織のアジトを発見して、単独でアジトに潜入したぜ。

奥の部屋に着いて、会話を聞いていると、すごいことが起きていた・
・

ベルモット「ねえ、ウォッカ？もう少しその贅肉ぜいじくをどうにかしてくれないかしら？」

ウォッカ「・・・これでも、頑張ってダイエットしてるんですけど・
・」

ベルモット「とてもそんな感じには見えないわね。」

ウォッカ「・・・」

きっと、マンガだったら、『ガビン!』って書いてあるだろうぜ。

ジン「一週間、絶食でもするか?」

ウォッカ「し、死にますよ、兄貴!」

ジン「2週間ぐらいなら持つぜ?俺は。」

ベルモット「それはそれで、すごいわね・・・」

と、ここまでは良かったんだ。

でも、ウォッカがすごいことに・・・

ウォッカ「うがー!!」

ジン・ベルモット「?!」

急に大声を出して、ジンとベルモットを追いかけたんだ・・・

その騒ぎを聞いて、入ってきたキャンティとコルンも巻き添え。

すごい戦いになったぞ。

ウォツカ「うがああああ！！！」

ジン「どうなってるんだ？！」

ベルモット「たぶん、キレたんでしょうね・・・」

キャンティ「ちょっと二人とも！あたい達まで、巻き添え食らったじゃないか！！」

コルン「俺達、何が何んだか、分からない・・・」

そう騒いでいる間も、ウォツカは追いかけてまわす。

最後には、ジン以外の人達、全員が柔道の技をお見舞いされたぜ。

哀れ、ベルモットたち・・・

ニュース2

次のニュースだぜ。

これには、FBIも入ってるぞ。

いつものように、殺人事件に巻き込まれた俺は、その現場へと向か

った。

FBIと話している途中だったから、FBIも連れてきたけど。

そこには、容疑者と思われる人が1名・・・

その1名が、驚きの人物だった・・・

ジョディ「じ、ジン？！」

そう、ジンだったんだ。

ジン「だから！俺はこの主人に呼ばれて、今着いたばかりなんだって！何回言ったらわかるんだよ！」

何度も弁解しているようだが、警察、聞く耳持たず。

ジン「・・・本当に疲れた・・・」

何度も叫んだからか、ジンは喉を押さえて、ゴホゴホ言っている。

目暮「しかし、容疑者が君しくないからなあ・・・」

ジン「容疑者を探すのが、警察の仕事だろうがあー！」

もう、すごい血相で言いまくる。

ジン「はあ・・・捕まえてもいいぜ。」

目暮「容疑を認めたな？！」

ジン「えんざい冤罪」という結果が出て、国民にその事実を知られてもいいならな。」

ジンが、尤ものことを言った。

当たり前だろうな。

目暮「うゝむ・・・」

ジン「それに、証拠は？目撃者は？指紋は？全部揃ったら、認めて

やらあ！」

お前、探偵にでもなったらどうだ？

とは言つてはいけない・・・

と思っていたら、赤井さんが普通に言つた。

赤井「お前、探偵にでもなつてみたらどうだ？いいかもしれないぞ？」

ジン「てめえ・・・本気で言つてやがんのか？ああ？」

ジン、それじゃヤクザだぜ・・・？

と思つてたら、赤井さんまで乗つてる！

赤井「ああ、本気だが？文句あるか？」

おいおい、ヤクザの喧嘩けんかになつてゐるぞ・・・？

ジヨディ「ちょっとあなたたち、こんなところで・・・恥ずかしいでしょうが。」

恥ずかしい、もあるけど、その前に、捜査の邪魔だな、うん。

コナン「ねえ・・・やるなら外でやってくれる？『捜査』の邪魔！」

『捜査』という所を強調して言ってやったぜ。

最後もきつく。

これなら、やらねえんじゃねえか・・・？！

な、何でだよ？！

ジン「じゃあ、外でやろうじゃねえか・・・！」

赤井「ああ、望むところだ・・・！」

ああ、すごいことに・・・

これには、警察のみんなも固まって、早く外に行くことを待ってるぜ・・・

たぶん、銃撃戦だな。いや、たぶんじゃねえ、確定だ。

って！ジョディ先生、何見送ってんだ？！

ジョディ「だって、巻き込まれたくないもの。」

尤もの答えだな・・・

とりあえず、邪魔が消えたし、捜査を始めた。

結局、犯人は捕まり、赤井さんたちを迎えに行った。

そこでは、すごいことが・・・

赤井さんもジンも、バツタリ倒れてたんだ。

何をやっていたのかと聞くと・・・

ジン・赤井「格闘。」

と、サラッと答えられた。

この二人、格闘なんかできたのか？！

どんな格闘かと聞くと・・・

ジン「俺は、空手、少林寺。」

赤井「俺は、中国拳法、空手。」

空手だけが、共通点だな・・・

って言うか赤井さん！

中国拳法って、どこで習ったんだよ！

中国か？！

まあ、もついいな・・・

あの二人は、病院に搬送されたらしい。

俺は、勝手に帰らせてもらった。

バカバカしくて、な・・・

よい子の皆さんは、絶対にまねすんなよ？

あの二人じゃなかったら、死ぬからな。

とりあえず、ニュースはこれだけか？

また何かあれば、みんなに知らせるぜ。

んじゃあな！

（後書き）

二つしかニュースがありません・・・

性格が変わってますが、気にしないでくださいっww

最後まで読んでいただき、ありがとうございましたっ
♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1995f/>

コナンニュース！

2011年1月5日14時27分発行